

---

## 古代の南海トラフ巨大地震

(石橋克彦：南海トラフ巨大地震—歴史・科学・社会、東京、2014、81-95)

2014年11月14日、災害医学抄読会 <http://plaza.umin.ac.jp/~GHDNet/circle/>

---

### 古代南海トラフ巨大地震

年代	1096年 12月11日	1099年 2月16日	887年 8月22日	684年 11月26日
場所	東海 巨大地震	南海トラフ 巨大地震	南海 東海 地震	南海 巨大地震
被害 特徴	津波 強震動による倒壊 液状化 地盤沈下 海没	強震動による倒壊 液状化 海没 津波	津波 強震動による倒壊 山体崩壊 海没	強震動による倒壊 津波 海没 液状化 山崩れ 地滑り

赤 被害が大きかったもの

南海巨大地震の特徴は諸国の地震動被害、土佐の沈水と津波、道後温泉の湧出停止がみられる。その津波累積物や液状化跡、史料が考慮され被害、範囲、時間などが推定されている。上記の表は総合的に考え可能性の高いものである。

史料地震学的には南海巨大地震は約100年ごとに発生しているものと考えられており、684年と887年の間、887年と1099年の間にも一回ずつ発生していると考えられている。そして南海地震と東海地震や他の自然災害との関連性も検討され、古代の南海トラフ巨大地震の研究が進められている。

### 【感想】

古代の南海トラフ巨大地震の傾向から考えると、近代の南海トラフ巨大地震は1946年が最も近いと考えられる。つまりあと30年の間に起きる可能性が高い。もし発生すると東海巨大地震も同時に起こり、太平洋側に大きな被害が出ると考えられる。人が多く集まっているし、被害が大きい場合は交通手段が絶たれ、西と東の行き来がしにくくなると考えられる。以上よりまず自分自身で災害に備え、災害が起こったとき救援が遅れることを考え早期の被害に対しては、地域で災害に取り組んでいくことが大切であると思いました。